

微生物研究を、さらにその先へ

～再現性とスケールアップに強い微生物研究開発プロセス設計～



日時 2026年 6月11日 [木] 13:30 ~ 14:30

微生物を基盤とする研究開発において、培養動態と細胞物性の双方を高い解像度で把握することが不可欠です。近年、AIやデータ解析技術の進展により、プロセス開発では従来以上に量的、かつ質的に信頼性の高いデータが産業化に向けて重要となりつつあります。

本セミナーでは、BioLector XT によるバイオマス・DO・pH・蛍光動態のリアルタイム計測と、Multisizer 4e によるサイズ分布・絶対細胞数・凝集度の物性解析を組み合わせた、データ駆動型プロセス開発のための重要な手法を紹介いたします。微生物挙動の可視化とバイオマス量変動の科学的分解を可能とし、発酵プロセスの最適化・ロバスト化に資する高度な定量解析基盤を提供します。

演題1

小スケール培養の限界を超える

～“速さ”と“再現性”を両立するプロセス開発とデータ活用戦略～

演者 蔵田 圭吾 ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス フィールドアプリケーションスペシャリスト

演題2

微生物の“見えない変化”を捉える：研究・培養プロセス事例から

演者 二階堂 正聡 ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部 プロダクトマネージャー

視聴登録はこちら

<https://becls.co/4nG2S19>



※セミナー終了後、1～2週間後よりオンデマンド配信を行います。
当日ご都合がつかない場合も、ぜひご登録ください。

Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。